



手代木せつ子 議員

- 1、子育て窓口一体化について
- 2、ふるさと納税の返礼品について



▲東矢本駅北側広場に設置されている防犯カメラ

Q 平成29年度のふるさと納税額が、平成28年度に比べて大幅に増えている。現在、H O P E に業務委託しているが、次の点を伺う。

A ①平成29年度の成果と大幅に増額となった訳は。②ふるさと納税の用途は。③返礼品の選定はいかに。④返礼品に「高齢者見守り訪問」や「夏場の親子

地引き網体験」等を加えてはどうか。

A 市長 ①寄附件数は1万81件（28年度比2.4倍）、金額は1億4400万円（同2.6倍）といずれも増加。

平成27年7月より一般社団法人東松島みらいとし機構と一括業務代行に関する事業協定を締結し

インターネットサイトの構築、クレジットカード支払いの導入、そして平成29年1月より「楽天」のサイトに本市のふるさと納税の返礼品を掲載した。

②平成30年度は、大曲小、赤井小、大塩小、矢本西小における情報化推進事業や各小学校の遊具改修工事費、防犯対策や松く

い虫防除、公園管理、農業施設の整備等、幅広く活用している。

③市のPRや知名度アップ、今後の観光や産業の振興等に繋がる商品70品目を選定（人気は牛タン）している。

④地元で両親を残して生活している方々にとって高齢者の見守り訪問等は望んでいる返礼品とは思いう。地元をPRできて、なおかつ納税者に喜ばれる返礼品を提供し、復興につなげていきたい。



▲ふるさと納税の返礼品に「高齢者見守りサービス」を

Q 返礼品に高齢者見守りを加えては

A 事業者等からの提案に向け周知



熱海 重徳 議員

- 1、防犯対策について

Q ①空き巣・泥棒などの対策について。②防犯カメラ設置について。また、街路灯の設置数は十分か。③空き家の防犯対策は。④子どもたちへの不審者などからの安全対策は。

A 市長 ①平成29年中の市内での空き巣などの侵入認知件数は

34件で、刑法犯全体の18%を占めている。本市では市防犯実働隊のパトロールにより、市民に見せる警戒を中心に対策を実施してきた。今後は石巻警察署などの連携を密に、施錠の徹底を市報等で周知啓発するほか、市全体の防犯研修も定期的に実施する。

②防犯カメラは、矢本東

地区に1台、野蒜地区に6台を設置運用している。今後は石巻警察署と協議の上、自転車盗難等が多発するJR駅前などを中心に設置を進める。また、防犯灯については、道路や住宅環境の変化に伴い随時対応していく。

③市内に空き家とみられる建物は217件あり、放火や不法侵入といった

Q 防犯対策について

A 防犯カメラ増設を実施する



A 犯罪の温床になる恐れもある。今後は所有者に対し適正な管理を要請する。

教育長 ④平成29年中には市内15件の不審者情報の提供があった。現在、各学校・幼稚園に対し、複数での下校、防犯ブザーの携帯、警察への通報およびパトロール体制の強化依頼等の安全対策を指示している。また、地域住民による見守り体制の強化等を推進していく。